

2023

直富商事株式会社
CSR報告書



すべての廃棄物のリサイクルを
目指しています。

直富商事株式会社

本社 / 〒381-0022 長野県長野市大豆島3397番地6
TEL:026-222-1880 FAX:026-222-1881
<https://www.naotomi.co.jp>



TOP MESSAGE

サステナブルな未来へ向けて

一昨年7月当社秋古工場が地滑りにより被災し、現在も多方面へご不便をお掛けしておりますが、2023年5月、機能を本社大豆島へ移転させる復興工事が始まりました。長野県内にはまだ未整備である最新鋭設備を多数整えた廃棄物中間処理施設となります。年明け稼働ご期待ください。

当社はお陰様で先期売上高168億円を確保させて頂き、従業員数615人と増収増員の結果を残す事が出来ました。お客様や地元の皆様から、各方面の様々な場面で選ばれ続ける企業であるよう、鋭意努力・挑戦してまいります。

我々はSDGsへの取組みの一環として、子どもを対象とした取組みに強い関心を持っています。その為、子ども食堂やフードバンクへの寄付寄贈を継続的に行っており、また子ども学習支援プロジェクトへの協賛、コロナ禍にあってもオンラインにて行っている小学生対象のリサイクル授業、これらは更に今後力を入れ、子ども育成の為に黒子になり続けられれば幸いに思います。

事業においても市場事業所の設備を更新し付加価値の向上と効率化を図ると共に、長野県佐久市へ出張所を開設しサービスの向上とCO₂排出削減に寄与させて頂きました。

また、海外との取引を拡大し、日本及び長野県の魅

力発信の準備を進めています。2023年度中には取り掛かれる見込みです。今後も広く地元へ貢献してまいります。

その他SDGsは勿論、脱炭素、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー等への取組みを、スピード感を持って対処してまいりたいと考えておりますので、引き続きのご愛顧何卒よろしくお願い申し上げます。



直富商事株式会社
代表取締役

木下 繁夫

米国雑誌「Newsweek」に掲載されました

2023年4月22日発行号の「Newsweek International」に、The Worldfolio社が寄稿した“Japanese firms ready to build a better future”という特集ページにて当社代表取締役 木下繁夫のインタビュー記事が掲載されました。

Newsweekは1933年に創刊され、世界の文化・政治・経済・社会情勢等、あらゆる分野の情報を世界に発信、展開する大手週刊誌です。インタビューでは、日本企業の競争力について見解を述べた他、当社の取組みや今後の

成長戦略について語っております。なお本記事は、Newsweek誌の他、The Worldfolioのウェブサイトに掲載されています。

英国通信社「The Worldfolio」
ウェブサイト インタビュー全文記事

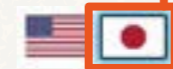
<https://www.theworldfolio.com/interviews/leading-the-global-recycling-drive-through-a-local-approach/5673/>



「The Worldfolio」ウェブサイト
インタビュー全文記事

Newsweek/表紙

Newsweek/掲載ページ



メインタイトル右側にある日本国旗のアイコンをクリックすると日本語訳にご覧頂けます。

経営理念

- 地域に愛され、必要とされる会社とする
- 社員が物心共に幸福と思える会社とする

行動指針

- 安全・遵法第一、営業第二
- すべてにおいて、常に顧客目線で考え、行動する
- 責め心の無い厳しさ、馴れ合いでない優しさを持ち続ける

会社概要

会社名 : 直富商事株式会社
本社所在地 : 〒381-0022
長野県長野市大豆島3397番地6
代表者 : 代表取締役 木下 繁夫

設立 : 1975年3月10日(創業 1948年)
資本金 : 45,000千円
売上高 : 168億66百万円(2023年 2月末現在)
従業員数 : 615名(2023年 2月末現在)

サステナビリティの取組み

直富商事は、創業以来、常に社会の発展に貢献する事を心がけてきました。
創業者である木下直人・富子の時代から連続と続く

「**創業者の精神**」 お客様は神様です 心は高く 身は低く 気が付け 気がきけ

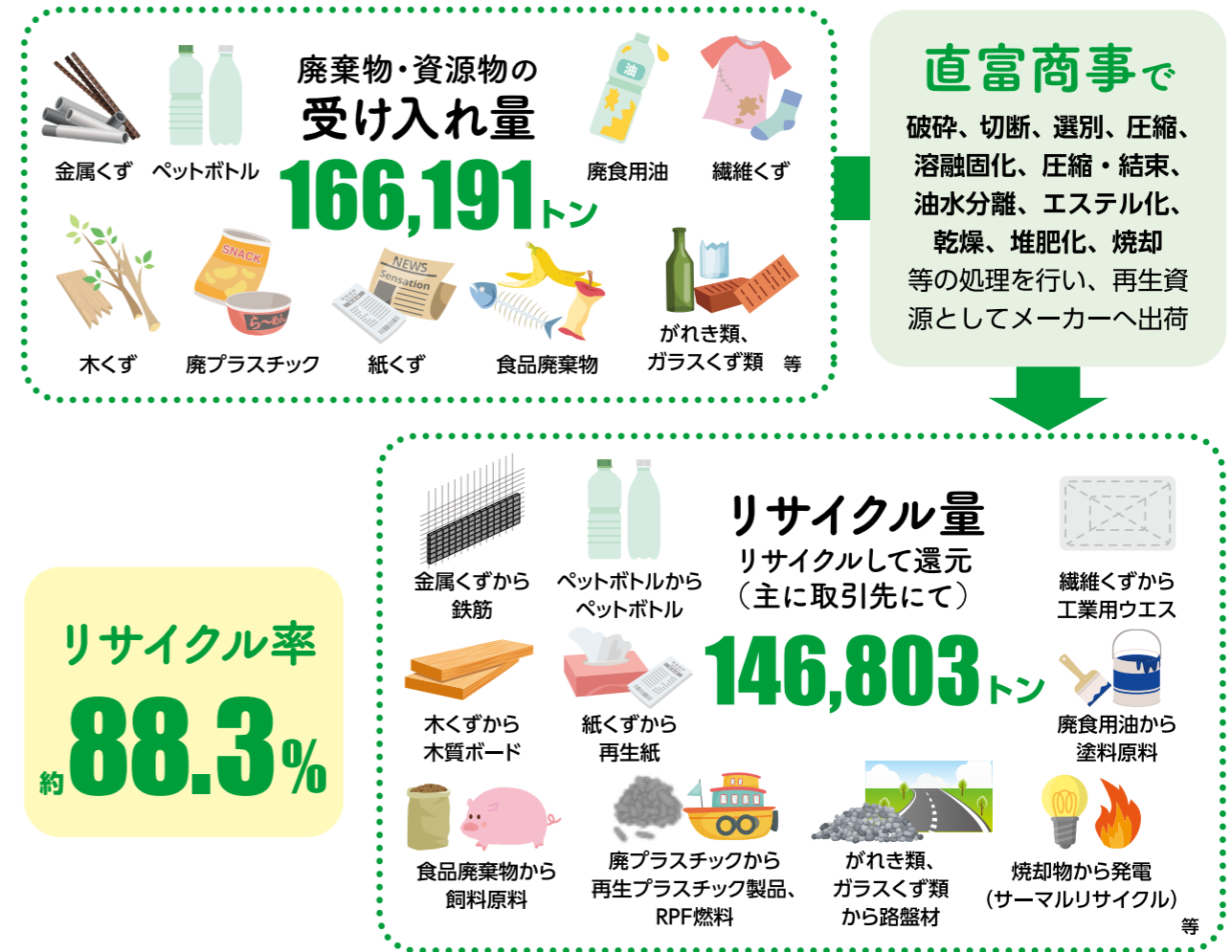
をベースとした企業理念の実践こそが、私たち直富商事の社会的使命であり、まさにサステナビリティへの取組みそのものであると考えています。



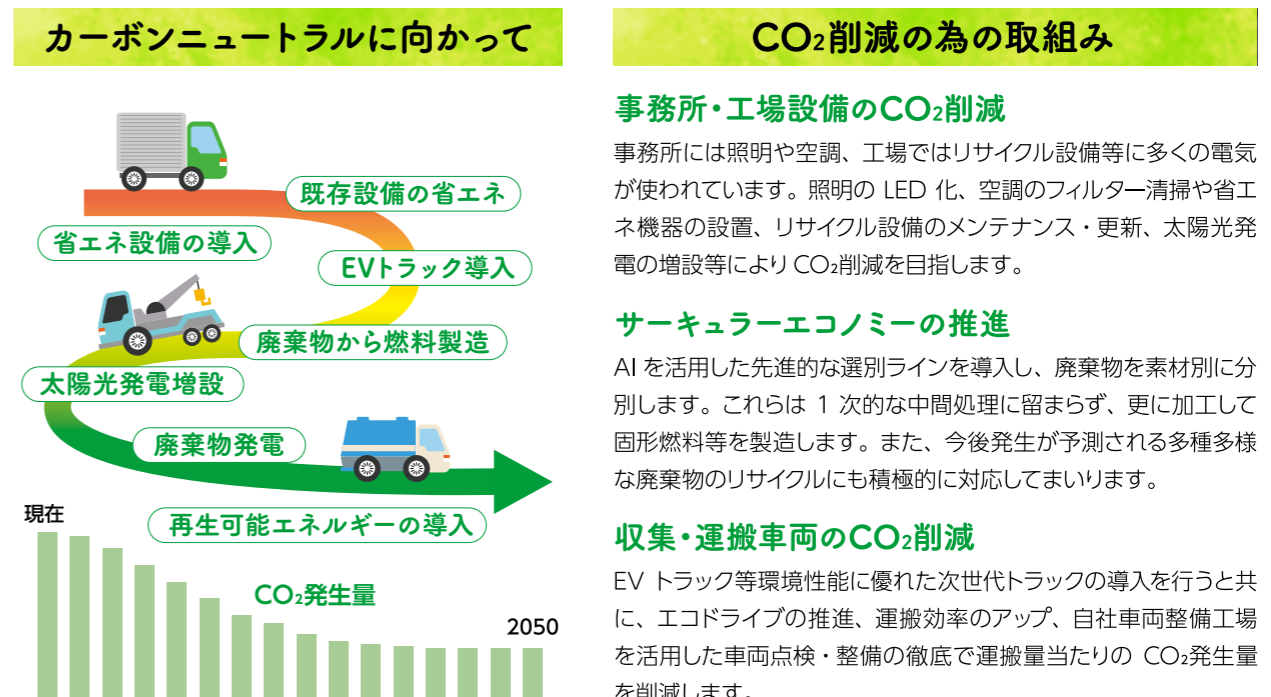
長野県 SDGs推進企業（SDGsと企業活動を関連付け、具体的なアクションを進める県内企業等を長野県が認定する制度）に登録されています。
SDGs達成に向けた重点的な取組みと2030年に向けた指標を掲げています。

SDGs達成に向けた重点的な取組み	2030年に向けた指標	関連する目標
受入れた廃棄物・資源物のリサイクル率向上	リサイクル率: 90%達成 2020年度 86.0% 2021年度 87.4% 2022年度 88.3%	12, 13, 15
リサイクル教育機会の充実 (リサイクル授業、出前授業、小学生見学受け入れ)	件数:年間合計 30件 2020年度 9件 2021年度 11件 2022年度 15件	4, 8, 13
社員の健康管理 再検査実施率の向上	再検査実施率: 80% 2020年度 33% 2021年度 42% 2022年度 44%	3, 8

2022年度リサイクル率



カーボンニュートラルの取組み



サービス



産業廃棄物

産業廃棄物の収集運搬及び中間処理を行います。リサイクル可能品目は中間処理後に再生利用します。高精度な選別を行う事で廃棄物の埋立て量を減らし、地球環境保全に貢献しています。



一般廃棄物

事業系一般廃棄物、家庭の引越しごみ・粗大ごみの回収等を行っています。一般廃棄物の回収は衛生的な生活を保つ為のエッセンシャルワークです。また、行政サービスの民間の受け皿としてソファ・マットレス・タイヤ・家電の受け入れを行っています。



古紙・機密書類

地域の資源回収や店舗、事業所等から排出される古紙類・機密書類を回収・加工し、メーカーへ納入します。その後新しい紙にリサイクルされます。



古着

回収した古着は選別され、東南アジアを中心に輸出します。日本の古着は質が良く、リユースには最適です。基準に満たない古着は、工業用ウエス等に使われます。



金属スクラップ

金属スクラップを回収・加工し、電気炉メーカー等へ納入します。選別・加工を行う事で品質アップを図っています。



食品廃棄物

ホテル、スーパー、コンビニ等から排出される食品廃棄物を、乾燥・堆肥化し、飼料・肥料原料として出荷します。「もったいない」の声に応え、食品を循環の輪で繋げています。



技術研究・分析

環境分野におけるリサイクルを中心とした研究開発、環境計量証明及び廃棄物の性状分析を行います。将来発生が見込まれる処理困難物のリサイクル技術確立の為、日々研究に打ち込んでいます。



プラスチック

海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取組みとして、使用済みプラスチックを回収・加工し、メーカーへ納入します。



ビルメンテナンス

設備管理、清掃業務により、建物を総合的に管理します。皆様が快適に利用出来るよう、衛生面や設備面の保守管理を行っています。



解体工事

ビル・工場・家屋等の建物の解体工事を行います。解体現場から出た金属・木材・コンクリート等は資源としてリサイクルしています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

 時代の変化や課題に迅速に対応し、事業を通してSDGsの実現を目指します。

TOPICS①

15 当社ドライバーが校長講話に講師として参加

当社ドライバーが小学校の校長講話に講師として参加させて頂きました。講師を務めたドライバーは、ごみの収集の際に常に明るい挨拶を心がけ、児童の皆さんから慕われている事から、校長先生から直々に今回のお話を頂きました。講話では、自身が小学校の皆さんと親交を深められた経緯、挨拶の大切さ、友達と仲良くなれるコツ等をお話させて頂きました。児童の皆さんが挨拶の大切さや友達を大事に思う気持ちの大切さを考えて頂くきっかけとなれば幸いです。



15 「信州子どもカフェ（こども食堂）」に寄付

「信州子どもカフェ（こども食堂）」に寄付させて頂きました。一般的には「こども食堂」と呼ばれますが、長野県では、様々な子どもの居場所の取組みの中で、学習支援、食事提供、悩み相談、学用品等のリユース等複数の機能を提供し、月1回以上計画的に開催されているものを「信州子どもカフェ」という愛称で呼び、その設置を推進しています。今後も支援を必要とされる方々の為に、継続的に協力してまいります。



3 世界の子どもにワクチンを！ ペットボトルキャップがワクチンに

ワクチンがないために世界で命を落とす子どもは1日4,000人とも言われております。

「ワクチンで助かる小さな命を救いたい。」当社では、ワクチンの支援活動を行っている認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを」日本委員会（JCVC）に協力し、回収したペットボトルキャップの売却益の一部を寄付させて頂きます。



©JCVC

18 ウクライナ支援について

2022年2月24日にロシア連邦が開始したウクライナへの軍事侵攻によって、住み慣れた母国を離れなければいけなくなったウクライナの方々に、一日も早く安心した生活を送って頂く為、ウクライナ難民への積極的な支援（住居の提供・就労機会の提供）を緊急決定しました。また、TeamNAOTOMIとして社員有志によるウクライナ緊急募金を実施し、会社からの支援金と合わせて日本赤十字社長野県支部へお届けしました。

15 フードバンクに協賛

家庭内にある使い切れない缶詰やレトルト食品、防災備蓄品の入替食品等を持ち寄り、支援を必要としている人々や福祉施設・困窮者支援団体に食品をお届けする活動「フードバンク」に協力させて頂きました。今年度は4回実施し、社員から支援を募り集まった食品を「NPO法人フードバンク信州」様へお届けしました。



15 「子ども学習支援プロジェクト」に協賛

昨年より引き続き「子ども学習支援プロジェクト」に協賛させて頂きました。社員が家庭にある未使用の文房具を持ち寄り、箱いっばいに集まった文房具を事務局へお渡ししました。これからの信州を支える子どもたちにお役に立てましたら幸いです。

※満足に文房具を購入出来ないご家庭もある状況の中、長野県在住で支援を必要とするご家庭や子ども支援団体を対象に学習用品（文房具）を送り、子どもたちの学習支援をするプロジェクト



15 小学4年生向け リサイクル授業の開催

2021年度よりコロナ対策として開始したオンラインによるリサイクル授業を、今年度は14校の小学校の皆さんと実施しました。事前学習として当社の紹介動画を視聴して頂き、工場内を生中継でレポートしました。

次世代を担う皆さんへの教育機会の提供は、廃棄物を扱う当社の社会的責任のひとつと考え、今後も取り組みを継続してまいります。



15 ごみゼロ運動に参加

毎年春と秋に行われている長野市大豆島（まめじま）地区のごみゼロ運動へ、地元企業として当社からも社員が参加しました。豊かな自然に恵まれた美しい信州を守る為、今後も身近な環境美化の活動には積極的に参加していきます。



15 「こんにちは県議会です」地域住民等との意見交換会

オンラインにより開催された「『こんにちは県議会です』地域住民等との意見交換会」に参加しました。「～環境政策のごみ問題はいま～循環型社会づくりをどう進めますか」をテーマに、脱炭素社会づくりに向け、ごみの減量化や脱プラスチック等に取り組む地域団体の方々との意見交換を行いました。様々な分野で活躍されている地域団体の方々から貴重なご意見を聞く事が出来、大変有意義な意見交換会となりました。今後も廃棄物処理事業を通じた「廃棄物の減量化、再資源化」により、持続可能な循環型社会の形成に努めてまいります。



15 環境懇談会を開催

各工場の地元区にて環境保全懇談会を開催いたしました。1年間の活動実績、資源物取扱実績等の報告を行い、質疑応答と意見交換を行いました。活発な意見交換を行う事が出来、有意義な時間となりました。頂きました貴重なご意見を参考に、今後も地元区の皆様と共に地域貢献に努めてまいります。

15 全国高等専門学校連合会様より「感謝状」を頂きました

高等専門学校制度創設60周年にあたり、高等専門学校への採用活動や事業支援等の貢献が評価され、長野工業高等専門学校様のご推薦により、全国高等専門学校連合会様より感謝状を頂きました。



3 命をつなぐ救命処置とAED

当社が加入している「全国スマイル・プログラム推進協議会」は、廃棄物処理業者とリサイクル業者が結成したボランティア団体で、AEDや普通救命技能の普及、災害時の支援物資の提供等、地域社会貢献活動を行っています。当社では、毎年、緊急時に正しく対処出来るようにAEDの操作方法及び心肺蘇生法の胸骨圧迫訓練を実施しています。なお、当社が加入する長野市委託清掃事業協同組合の専用パッカー車（オレンジ色のパッカー車）や当社の各事業所にはAEDが設置されています。今後も「命をつなぐ救命処置とAED」の普及拡大を通じて大切な人を守り、職場を守り、地域を守りたいと考えています。

15 クリーン作戦に参加

長野市大豆島（まめじま）地区のクリーン作戦が行われ、地元企業として当社からも社員が参加し、地域の皆様と共に大豆島地区沿道のごみ拾い及び除草作業を行いました。



15 地域まるごとキャンパス2022

地域における環境美化活動の一環として、国道沿い（当社秋古工場前）の国交省保有の花壇に花植えを行っています。この活動を、ながの協働ネット様主催の「地域まるごとキャンパス2022」のプロジェクトに提供し、今回3名の高校生が参加してくれました。花壇のデザイン、花の選定から花植えまでを学生が主体となり行う中で、当社と地域との繋がりを感じて頂ける機会となりました。



15 長野高校フィールドワークに協力

長野高校2年生のフィールドワーク（生徒の研究テーマの参考となる活動を行う企業等を、生徒自身が訪問する取組み）に協力させて頂きました。「プラスチックリサイクル」を研究テーマとして掲げられ、プラスチックのリサイクル方法や活用方法、環境への影響等についてお話をさせて頂きました。

15 長野県学校科学教育奨励基金に協賛

長野県内の小・中学校、高等学校及び特別支援学校での科学教育に関する研究への奨励及び援助の為、「長野県学校科学教育奨励基金」に寄付いたしました。自然や人文科学等様々な科学教育振興の一助となれば幸いです。



TOPICS②

「Newsweek」掲載記事の取材

当社代表取締役の木下が、英国通信社 The Worldfolio 社より取材を受け、米国の大手週刊誌「Newsweek」及び The Worldfolio 社のWEB サイトへ取材に基づく記事が掲載されました。社長ブログにも今回の取材について掲載しております。



一柳良雄先生に講演をして頂きました

株式会社一柳アンソニエイツ 代表取締役 CEOの一柳良雄先生に講演をして頂きました。「一柳良雄が問う 日本の未来 (BSテレ東)」や多くの著書で有名な一柳先生、お忙しいところ長野までお越し頂きありがとうございます。ノリの良い関西弁に、ユーモアを交えた巧みなお話に引き込まれ、あっという間に2時間が過ぎてしまいました。受講させて頂いた管理職一人ひとりが夢や目標をもって、知恵をつけ、そして人間力を磨いていく。社会から更に必要とされる企業となるように精進してまいります。



不当要求防止責任者講習を開催

(公財)長野県暴力追放県民センター様、長野県警察本部組織犯罪対策課様より講師をお招きし、「不当要求防止責任者講習」を開催いたしました。講習はWEB会議を利用して全社約50名が受講し、暴力団等の反社会的勢力から不当な要求を受けたときの具体的な対応要領についての講話、反社対応ビデオの視聴、クレーム対応の具体的な方法等、大変参考になる内容でした。今後も社員のレベルアップとコンプライアンス教育に取り組んでまいります。



市場事業所のペットボトルラベル分離機の更新

市場事業所に設置している「ペットボトルラベル分離機」を入替えました。ペットボトルとラベルを分離する事で付加価値が向上し、手作業でのラベル剥離にかかる人員が省力化出来る為、より効率的に選別工程作業を行う事が出来ます。



e:HEV車の導入

本社の社用車として、「e:HEV」搭載の車を導入しました。「e:HEV」とはホンダ独自のハイブリッドシステムで、低燃費で走行出来る事はもちろんの事、運転のしやすさや乗り心地の良い、快適性に優れた配慮が施されています。



技術研究室「廃棄物測定技術の開発」についての記事紹介

「産廃処理の総合専門誌INDUST5月号」に技術研究室が「廃棄物測定技術の開発」について寄稿し、記事が紹介されました。

東京都産廃エキスパート認定を更新

2010年に東京都の「産廃エキスパート(第一種評価基準適合業者)」の評価・認定を受けて以来、継続して更新審査を受けています。東京都 優良性基準適合認定制度は、産業廃棄物の「適正処理」「資源化」及び「環境に与える負荷の少ない取組み」を行っている産業廃棄物処理業者を、①法の遵守状況に関する「遵法性」、②事業運営に関する「安定性」、③環境に配慮した「先進的な取組み」の各評価基準に基づき東京都が指定する評価機関が厳正且つ公正な審査により評価・認定する制度です。



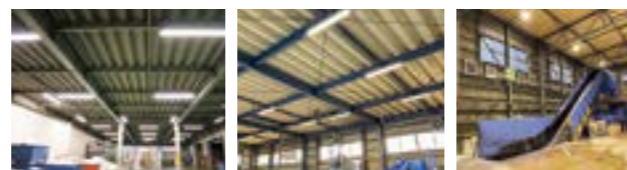
本社工場の天井クレーン入替

本社工場内の天井クレーンを入替えしました。以前の天井クレーンと比較して吊り上げ荷重が4.5tから10tへと倍になった事で作業効率が向上し、操作も無線コントローラーになった為、安全に作業が出来るようになりました。



工場施設のLED化

東御営業所と市場事業所では、工場内の蛍光灯をLED照明に切り替え、本社第2工場ではLED照明を増設しました。省エネはもちろんの事、作業環境が改善され、安全性も向上しました。



市場事業所の発泡スチロール溶融固化施設の更新及び施設の改修

市場事業所に設置している、発泡スチロール溶融固化施設の機械を入替えました。投入口が改善された事により破碎の作業効率が大幅に向上し、消費電力も抑える事が出来、省エネに繋がりました。併せて、施設内を改修しレイアウトを変更しました。安全性が確保され、生産性の向上にも繋がりました。



融雪剤(塩カル)散布機を導入

工場内の積雪・凍結対策として、軽トラックや1t車に取り付けられる簡易的な融雪剤(塩カル)散布機を導入しました。融雪剤散布にかかる時間や人員を省力化出来ると共に、融雪剤を均等に撒ける為融雪剤の削減にも繋がります。



株式会社ユモト子会社化

当社は、杉並リサイクル事業協同組合(東京都杉並区)の一員である『株式会社ユモト』を2022年6月1日付にて買収し子会社化いたしました。

東京営業所 事務所移転

東京営業所の事務所を移転(東京都杉並区堀ノ内 3-28-20-301)しました。

佐久出張所開設

長野県東信地区の新たな拠点として、佐久出張所(長野県佐久市岩村北1丁目7番1)を開設しました。佐久出張所の開設により、廃棄物収集の効率化が図られ、CO₂削減に繋がります。



ネットショップ開店

主に医療や介護現場で使用する「使い捨て手袋、袖付きエプロン、アインレーションガウン、マスク等」をインターネットショッピングサイトの「Yahoo!ショッピング」にて販売開始いたしました。



ショッピングサイト: <https://store.shopping.yahoo.co.jp/naotomishop/>

商標登録取得

社用車等に表示している「NAOTOMI」等のロゴマークを商標申請し、特許庁より登録商標として正式に登録されました。



長野県植樹祭に参加

5月28日、長野市茶臼山自然植物園にて「第72回長野県植樹祭」が開催され、当社は長野県環境保全協会の一員として参加させて頂きました。SDGsの達成や2050年カーボンニュートラル実現の為、森林は欠かせない資源です。今回は約60名の参加者が、スクラ等70本の植樹を行いました。今後も環境活動に積極的に取り組んでまいります。



酒類販売業免許を取得

長年の中国貿易の経験を活かす為、酒類販売業の輸出酒類卸売業免許を取得しました。海外で高い評価を得ている日本産酒類の中国に向けた輸出販売を進めております。中国の輸入規制に長野県も含まれる為、地元長野県産の酒類を輸出する事は出来ませんが、規制解除後に向けて取扱いが出来るよう、県内酒蔵メーカーとの関係構築に努めてまいります。



紙製ファイルの導入

脱プラスチックの取組みとして、プラスチック製のクリアファイルに代わる紙製のファイルを導入しました。こちらのファイルは、適正に管理された森林及びその他の管理された供給源からの原材料で生産されたFSC® 認証を受けた紙を使用しております。また、植物由来の「ベジタブルインク」を使用し、水を使わず有害な廃液を一切排出しない印刷方式にて作られた環境に配慮したファイルとなっております。



冬季節電プログラムへ参加

近年、電力需給の逼迫が盛んに叫ばれており、今冬も非常に厳しい見通しとなっている中、電気を効率的に利用する為の取組み「冬季節電プログラム」に参加いたしました。このプログラムは、節電要請があった際の協力及び前年同月の使用実績から3%以上の電力削減を目指す事を目標として掲げられた取組みです。社員の節電意識を高め、節電によりCO₂排出の抑制に努める事で環境負荷の低減に貢献してまいります。

創業記念植樹

8月1日に創業記念式典を行い、8月5日東御営業所にて代表取締役 木下による「記念植樹」を行いました。この植樹は、カーボンゼロに向けた当社の取組みの第一歩で、毎年継続していきます。



個人宅配荷物の職場受取を開始

長野県・長野市・宅配事業者等が展開する「ながの再配達削減プロジェクト」に賛同し、個人の宅配荷物を職場でも受け取る運用を開始しました。この取組みにより宅配の利便性を高め、再配達による宅配事業者の負担やCO₂排出量の削減に貢献いたします。

環境方針 基本理念

弊社は循環型社会の担い手として“安全はすべてに優先する”“美と心地よさを残す”の企業理念に基づき、人間の社会活動と地球環境の保全との調和に貢献する事を目指すと共に、自らが及ぼす環境への負荷を軽減し、もって地域住民との協調を図ります。

弊社の事業活動が環境に与える影響を考慮し次の項目を重点事項として取組みます。

- ①お客様の環境負荷低減の為にあらゆる廃棄物の再資源化に取組み、循環型社会の形成に寄与します。
- ②省資源・省エネルギーを推進します。
- ③大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等の環境に与える影響を低減し、環境汚染の防止を図ります。
- ④花と緑に囲まれた工場を創造・維持し、地域環境との調和を図ります。

環境マネジメントシステム

環境保全に貢献する為、ISO14001の登録認証を受け、環境マネジメントシステムに取組んでいます。

事業活動の目標達成がISOの目標と連動する仕組みの中で、エネルギーの効率的運用、廃棄物の再資源化、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。

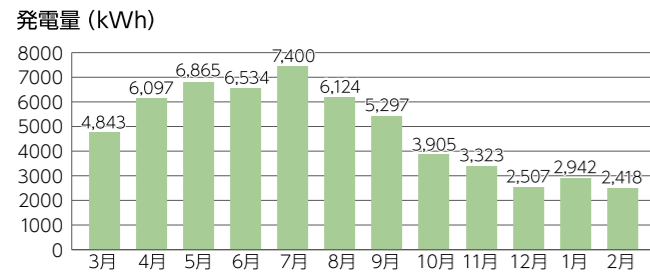


本社・本社工場・第2工場
秋古工場・市場事業所



太陽光発電システム

本社第二工場の屋根に太陽光発電パネル270枚を設置し、地球環境に配慮した負荷の少ないクリーンエネルギーの普及・啓発活動を行っています。



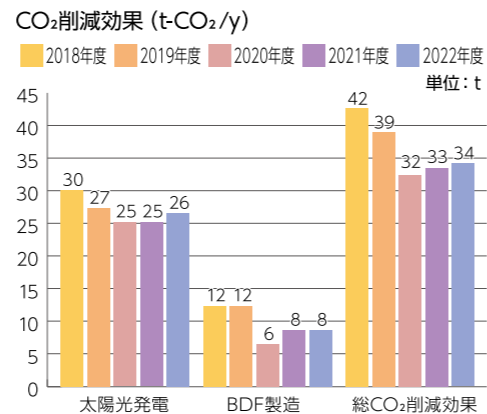
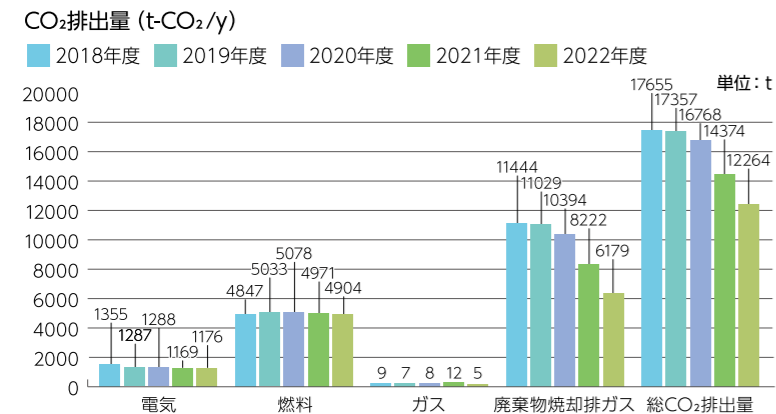
フロン排出抑制法対応実績(2022年度)

オゾン層の破壊、地球温暖化といった地球環境への影響から、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)」が制定され、フロン類を適正に管理する事が求められており、当社は、第一種フロン類充填回収許可業者として、適切に引取りし管理しております。

フロン排出抑制法に基づき、
引取りを実施した状況は次のとおりです。

フロン類(引取量) 1206.03kg

CO₂データ



環境汚染・水質汚濁・騒音・振動等の防止対策と測定データ

工場における環境保全対策として、臭気、排水水質、騒音、振動等の項目を定期的に測定しています。

測定の結果、すべての項目で法令又は自主基準を遵守する結果となりました。周辺住民の方や社員に健康被害を及ぼす事の無いよう管理しています。



●排ガス関係(ばい煙発生施設)

測定項目名【単位】	秋古工場廃棄物焼却炉			苦桃工場蒸気ボイラー		
	排出基準	結果	測定年月	排出基準	結果	測定年月
ばいじん量酸素補正值【g/m ³ 】	0.25	0.010	2022年9月	0.3	0.001	2022年7月
硫酸化物排出量【m ³ /h】	5.1	<0.2	2022年9月	1.7	0.019	2022年7月
窒素酸化物量酸素補正值【cm ³ /m ³ 】	法的基準なし	63	2022年9月	260	65	2022年7月
塩化水素量酸素補正值【mg/m ³ 】	700	48	2022年9月			
全水銀【μg/m ³ 】	50	1.1	2022年9月			
ダイオキシン類【ng-TEQ/m ³ 】	10	1.2	2022年3月			

●工場敷地境界・周辺の臭気測定結果

測定項目名【単位】	基準	秋古工場周辺環境 2022年12月7日	苦桃工場風下周辺環境 2022年7月4日	東御営業所風下敷地境界 2022年5月13日
臭気指数	なし	< 10	< 10	—
スチレン【ppm】	0.8	—	—	< 0.03

●排水水質測定結果

測定項目名 【単位：mg/l (pHは無単位)】	基準	本社工場北側 2022年12月8日	本社工場南側 2022年12月8日	秋古工場 2022年10月3日	市場事業所洗車場 2022年7月20日	苦桃工場 2022年10月13日	東御営業所 2022年5月13日
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6	7.2	7.2	7.1	6.5	6.6	7.2
生物化学的酸素要求量(BOD)	160	1.1	3.1	2.6	1.2	2.8	—
浮遊物質(SS)	200	1	3	10	<1	<1	<1
ノルマルヘキサン抽出物(鉱油類)	5	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ノルマルヘキサン抽出物(動植物油脂類)	30	<1.0	4.6	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
カドミウム	0.03	—	—	<0.005	—	—	—
シアン	1	—	—	<0.01	—	—	—
鉛	0.1	—	—	<0.05	—	—	—
六価クロム	0.5	—	—	<0.02	—	—	—
ひ素	0.1	—	—	<0.002	—	—	—
水銀	0.005	—	—	<0.0005	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	3	—	—	<0.0005	—	—	—
トリクロロエチレン	0.1	—	—	<0.002	—	—	—
テトラクロロエチレン	0.1	—	—	<0.0005	—	—	—
ほう素	10	—	—	0.5	—	—	—
ふっ素	8	—	—	0.35	—	—	—
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100	—	—	0.9	—	2.6	—

●工場敷地境界・周辺の騒音・振動測定結果

測定項目名【単位】	工場・営業所	本社工場		秋古工場		苦桃工場		東御営業所			市場事業所			
		測定日		測定日		測定日		測定日			測定日			
	基準	騒音	振動	騒音	振動	騒音	振動	騒音	振動	騒音	振動			
騒音【dB(A)】	自主基準	67	70	環境基準 60	65	自主基準 65	—	規制基準 70	70	70	70			
	測定地点	敷地境界		直近集落環境		敷地境界		敷地境界			直近民家との敷地境界			
騒音【dB(A)】		63	48	49	53	51	62	51	61	49	63	62	61	63
振動【dB】		57	37	49	56	<30	—	—	—	—	34	32	33	34

※<は、定量下限値未満を示します。

コンプライアンス・リスク管理



基本方針

1. 経営理念を具現化する為に、社員への遵法・環境教育を充実させ、教育内容の周知徹底及び浸透を図る
2. 廃棄物処理法違反を起こさない

遵法報告

2022年度、行政処分、行政指導はありませんでした。
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すべく、設備の点検記録、マニフェストの置き場管理等の社内独自ルールを整備、内部監査制度を活用し、違反を未然に防止する対策を講じています。

コンプライアンスマニュアル

社員等による、高い倫理観や経営理念に基づくコンプライアンスの取組みに関する基本事項を定め、それを通して公正且つ誠実な経営を行い、会社の企業価値と社会的信用の向上を図る事を目的としてコンプライアンスマニュアルを制定しています。

廃棄物の知識を深める

廃棄物処理業者として、社員の廃棄物に関する法律の理解は必須です。知識を深める為、コンプライアンス担当主催の「遵法勉強会」を毎月開催しています。また勉強会の動画データを専用サイトに公開し、繰り返し視聴して学習出来る環境を整えました。



2022年度に実施した遵法勉強会の内容

- PCB特別措置法
- フロン排出抑制法
- プラスチック資源循環法
- 処分許可証の事業範囲の確認
- 処理業許可の事業範囲変更点
- 家電リサイクル法
- 廃棄物委託契約書
- 排出者責任 委託基準
- 電子マニフェストの概要
- 廃棄物処理法の罰則・欠格要件
- コンプライアンスマニュアル
- コンデンサー、金庫の取扱い注意事項
- 収集運搬許可証の事業範囲の確認
- 太陽光パネル処理技術



コンプラHOT LINE

法律違反、不正行為等のコンプライアンス問題の発生やその危険性を感じた社員が、社外に設置した窓口へ直接通報出来る仕組みです。会社や社員が、違反している(しようとしている)、ハラスメントを受けた(目撃した)といった、社内では告発し難い事項を通報する事が出来ます。

コンプライアンス行動指針

毎日、朝礼でコンプライアンス行動指針を読み上げ、社員の遵法意識の向上に努めています。



内部監査

近年、企業の不正や不祥事が社会問題となり、ガバナンス強化が叫ばれている事から、当社の行動指針である「安全・遵法第一」に基づき内部監査制度を導入しています。その結果、各部門のリスク管理レベルは着実に向上しています。

情報セキュリティマネジメントシステム

廃OA機器、廃機密書類等、機密情報が含まれる廃棄物の処理をお客様に安心してお任せ頂く為に、本社ではISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)の登録認証を受けています。



ISO27001
本社工場・第2工場
(廃OA機器・機密書類)



健康への取組み

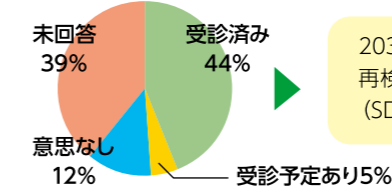


健康経営優良法人2023(中小規模法人部門)認定

健康診断再検査の推奨、ストレスチェック100%実施等の取組みが評価され、健康経営優良法人2023(中小規模法人部門)に認定されました。

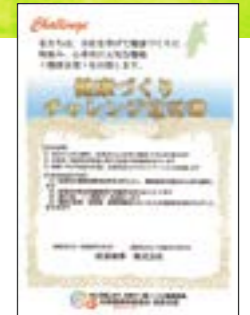


2022年度再検査率



健康づくりチャレンジ宣言

全国健康保険協会 長野支部の「健康づくりチャレンジ宣言」に登録し、心身共に元氣な職場『健康企業』を目指しています。



活動内容

1. 社員の健康管理、健康増進の為の情報を、社内ツールを活用して発信
2. 定期健康診断の結果、要治療、要精密検査となった方への再受診を推奨

健康・医療に関する無料相談サービス



健康・介護・医療に関する悩み・疑問・相談がある

電話相談



会社内では相談しにくい内容も各分野の専門スタッフが対応



サービスを利用した社員及びその家族が心のケアを受ける

特定保健指導

生活習慣病の重症化を防ぐ為、保健師による生活改善指導を実施しています。2022年度は2月に3回、計29名を対象に実施しました。



保健師が面談必要と判断した社員



個別面談



半年間、生活改善のサポート



生活習慣改善に繋がる

産業医健康相談

- 長時間勤務の人
- メンタルも含めて不安な事がある人
- 健康診断の結果についてより深く知りたい人
- ケガ(労災等)からの職場復帰相談



産業医健康相談

産業医より提出される報告書から、配慮すべき事項の指導を受け、会社として社員の健康管理に役立てています。

病気入院補償制度

社員が病気入院を余儀無くされた場合に、メンタル面及び費用の面で会社がサポートしています。

安全衛生の取組み



基本方針

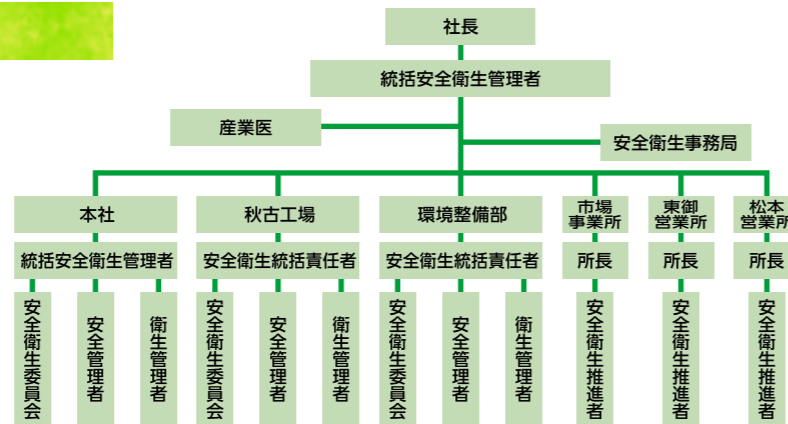
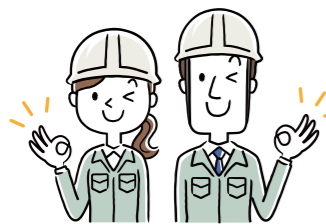
- 事故を起こさない、社員にケガをさせない
- 安全衛生活動のレベルアップ

2022年度安全衛生スローガン

無理せず 慌てず 目視で確認 ゆとりを持って安全作業 (優秀賞) 原料部 丸山和広作

安全推進体制

各拠点の責任者で安全衛生委員等を選任し、安全衛生に関する方針の立案、活動の推進、指導を継続し、安全衛生活動に取り組んでいます。



アルコールチェッカー

酒気帯び運転対策として、全従業員を対象にアルコールチェッカーにて呼気中のアルコール濃度を測定しています。万が一、アルコールを検出した場合は、車を運転せず帰宅する事を義務付けています。法律改正に合わせて、出社時と帰社時のチェックを実施しています。

安全パトロール

安全且つ法律に則り作業を行っているか、毎月パトロールを実施しています。指摘事項が見つかった場合は、進捗管理を行い、是正を義務付けます。

2022年度指摘件数: 93件 整理整頓、不安全行動、不安全状態を指摘しました。

指摘例①



Before
機械装置の点検箇所
の掲示物が劣化

改善例①



After
張り替えにより改善

指摘例②



Before
点検清掃時に
巻き込まれの危険あり

改善例②



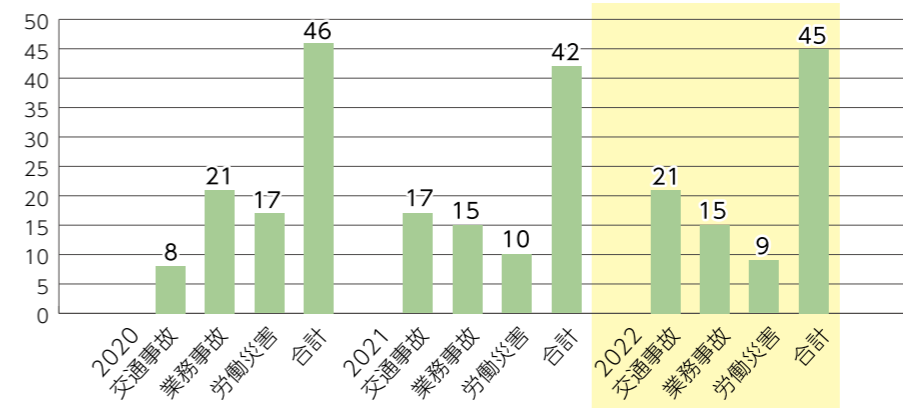
After
巻き込まれ注意の設置

交通安全の取組み

社員の通勤時のシートベルトチェック、住宅街での交通事故事例のビデオ放映会、交通ヒヤリハットマップの作成と社内周知、雪道運転の交通安全ビデオ放映、チェーンの巻き方講習会。

事故発生報告

事故発生件数(年度別比較)



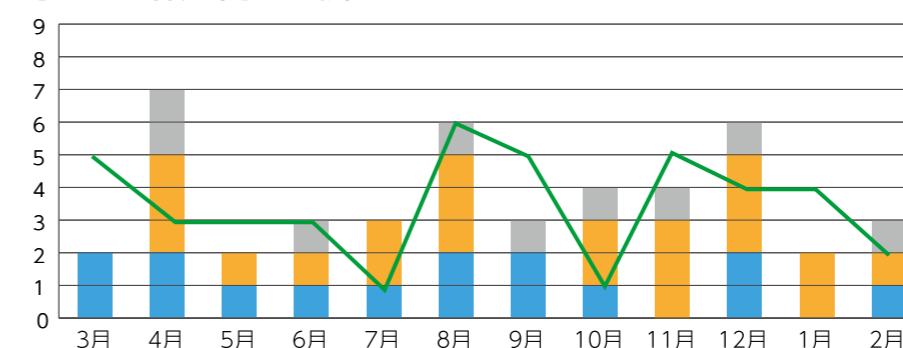
所有車両数: 約250台
(2023年2月末現在)

事故発生件数目標と実績

2022年度		達成度	2023年度	
目標	実績		目標	
年間18件以内	45件	未達 (+27件)	年間21件以内	

2022年度は部門毎に目標数を設定しましたが、部門目標を達成出来た部門は2部門のみでした。2023年度は各部門で立てた目標を達成出来るように事故削減に繋がります。

事故発生件数(月別比較)



事故の原因を見ると、確認不足が半分以上を占めています。「慌てない」「無理しない」「しっかり確認」の合言葉を再徹底します。キャリア別で見ると3年未満の経験未熟な作業員が起こす事故が半分以上を占めています。危険感受性の向上や車両感覚の把握、ルール・手順の遵守状況のチェック等独り立ちをさせるまでの教育内容を充実させ、事故防止を図ってまいります。

事故防止対策

- 1. 再発防止**…原因を正確に把握し、効果的且つ実行可能な対策を実施する。
- 2. 予防対策**
 - (1) KY活動…運転・作業中に潜んでいる危険を予知し、それを回避する。
 - (2) リスクアセスメント…作業中のリスクを把握・評価し、リスクのレベルを低減する。
 - (3) 5S活動…作業場の不安全状態を取り除く。
 - (4) 他山の石…他企業等で発生した事故を教訓とし、同種の事故を起こさない。
- 3. 社員の意識の向上**…社員一人ひとりが、事故を起こさないという強い意識を持つ。

年間安全表彰

年間を通して安全衛生に係る改善・改革等が特に優れ、労働災害の減少を図り、他のグループの模範と認められる優れた部門を表彰しています。



事故最優秀表彰

市場事業所
工場内作業、収集運搬業務ともに年間を通して事故ゼロを全社で唯一達成!



事故優秀表彰

環境部
多くの車両を抱えて作業を行う中で全社平均より少ない事故件数を達成!

リサイクル工場

全社平均より大幅に少ない事故発生件数を達成!

浄掃グループ

全社平均を上回る事故削減率と事故発生件数で長野市内のごみ回収を実施!

環境整備部

多くのスタッフと現場を抱える中、事故の発生件数を基準値以下に抑えた!

スポーツ支援



スピードスケート

2020年度より当社に所属している、スピードスケート山田梨央選手を応援しています！
全日本選抜スピードスケート競技会帯広大会と全日本選抜スピードスケート競技会恵那大会では、500mと1000mで見事優勝しました。また活躍した選手に贈られる『長野市スケート協会令和3年度 優秀選手賞』を長野市スケート協会様より受賞いたしました。



2022年シーズン結果

- 第29回全日本スピードスケート距離別選手権大会結果
開催期間: 2022年10月21日~2022年10月23日 開催地: 長野県長野市
500m (38秒93) 7位 / 1000m (1分17秒26) 6位
- 全日本選抜スピードスケート競技会帯広大会結果
開催期間: 2022年11月18日~2022年11月20日 開催地: 北海道帯広市
500m (39秒21) 1位 / 1000m (1分17秒68) 1位 / 1500m (2分02秒46) 2位
- 全日本選抜スピードスケート競技会恵那大会結果
開催期間: 2022年12月2日~2022年12月4日 開催地: 岐阜県恵那市
500m (40秒22) 1位 / 1000m (1分20秒82) 1位
- 第90回全日本スピードスケート選手権大会結果
開催期間: 2022年12月28日~2022年12月30日 開催地: 青森県八戸市
500m (38秒79) 4位 / 1000m (1分16秒92) 2位

信越硬式野球クラブ

当社社員の成澤圭祐選手が、長野市の社会人野球チームである『信越硬式野球クラブ』で活躍しています。2022年シーズンは、6月に行われた都市対抗予選では最後まで粘りを見せましたが惜しくも二次予選で敗れ、悔しい結果となりました。2023年シーズンは都市対抗野球本大会を目指し、頑張れ！信越！



2022年シーズン結果 個人成績【公式戦12試合】

打数	安打	打点	盗塁	本塁打	打率
48	14	7	5	1	0.292

社員との繋がり

年間優秀社員表彰

毎年、各分野で活躍する優秀社員へ表彰を行っています。
社員のモチベーションアップを図り、活気のある職場づくりへと繋がります。

優秀ドライバー職



大沢 稔
Minoru Osawa
(環境部 清掃G)



太田 博之
Hiroyuki Ota
(環境部)



古平 悦男
Etsuo Kodaira
(東御営業所)



高原 広和
Hirokazu Takahara
(松本営業所)



成嶋 宏明
Hiroaki Narushima
(東京営業所)



吉沢 純
Jun Yoshizawa
(環境部)

優秀ヤード職



青木 正和
Masakazu Aoki
(東御営業所)



今井 良
Ryo Imai
(産廃部)



前田 幸宏
Yukihiro Maeda
(環境部 市場事業所)

優秀営業職



関 佳弘
Yoshihiro Seki
(環境部)

優秀事務員



石原 あずさ
Azusa Ishihara
(産廃部)

(五十音順)

やりがいを持って働ける職場づくり



- 社員の子育て応援宣言 社員一人ひとりのワークライフバランスを推進する為、子育てしやすい環境を整備し、安心して育児が出来る環境づくりを目指し、「社員の子育て応援宣言」を掲げています。

宣言内容

1. 育児休業規程を積極的に周知し、取得しやすい雰囲気づくりに努めます。
2. 子どもを持つ社員の学校行事やPTA活動への参加を推奨します。



● 産前産後休業・育児休業制度

この制度は原則として子が2歳に達するまで休暇を取得出来、現在6名の社員が取得中です。(2023年2月末時点)
性別・年齢問わず多様な人材が活躍し、休暇取得後も安心して働き続けられる環境づくりをしています。



● 能力開発(資格取得応援制度)

社員がスキルアップの為に資格取得に取り組む事を奨励・支援する制度です。組織の活性化や社員の成長意欲向上を目的とし、今年度は2名の社員が資格を取得しています。

該当資格(一例)	eco検定、ビジネスマネジャー検定、コミュニケーション検定、産業廃棄物処理検定、秘書検定 等
----------	--

● 小集団活動

社員の能力アップ、現場における問題の解決、モチベーションアップを目的とした小集団活動を行っています。参加チームそれぞれが改善テーマと目標を選定し、日々の業務の中で改善活動を展開しながら目標達成の為に取組みました。素晴らしい成果をあげた取組みを、今後会社全体に広がっていきます。

最優秀賞：東御営業所▶



2022年度 成果発表会結果

- ★最優秀賞/東御営業所 活動内容: ストックヤード設置による作業効率化
- ★優秀賞/原料部 活動内容: 積み込み作業の効率化を目指す取組み

● 懇親会補助制度

普段一緒に仕事をしている部署の仲間、情報共有やお互いの親睦を深める事を目的とした懇親会を定期的に行き、年に2回1人あたり5,000円を上限とした懇親会費を補助しています。

● その他

社内報発行(隔月)、人事考課制度、正社員登用制度、成人祝金、永年勤続表彰、お子様小学校入学祝金。

● 障がいのある社員の活躍

障がいのある方が様々な職場で活躍しています。作業環境の改善等、働きやすい職場づくりのきっかけとなっています。



ダイバーシティを推進中!

- 高齢者の社員の活躍 定年退職後、再雇用制度を利用して60歳以上の方が活躍しています。長年の経験やスキルに基づく人脈やノウハウを活用する事が出来るほか、多様な価値観を社内に取り込み、活性化を図る事が出来ます。

～人事・労務データ～(2023年2月末現在)

社員数	新卒採用	新卒5年未満の離職率	平均勤続年数	障がい者社員数	定年後再雇用社員数	育児休業取得者数	
合計	男女比(男性/女性)	(男性/女性)					
615名	366名/249名	5名(3名/2名)	8.3%	9年2ヵ月	8名	16名	6名

友好会活動

社員親睦会である『友好会』により、社員が主体となって毎年様々な行事を企画運営しています。新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度まで活動を自粛しておりましたが、2022年度は感染症対策を講じた上でソフトボール大会、バーベキュー大会、ゴルフ大会を開催し、久しぶりに集まった会社の仲間たちとの交流を楽しみました。



◎編集方針……本報告書は、直富商事の全事業について掲載すると共に、環境及び社会的側面における活動実績を報告しています。

◎報告対象期間…2022年度(2022年3月1日~2023年2月28日) ◎発行年月…2023年5月

お問い合わせ先 直富商事株式会社 管理本部 総務部 TEL/026-222-1880 FAX/026-222-1881